

学園だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北湊学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

第4号 令和4年12月発行

文責 校長 牛島 俊哉



子ども自らが自己の成長を願うために

子どもをとりまく社会の中で、「学力向上」が求められています。子どもたち一人一人の学力を高めることは、子どもたちの将来の選択肢を増やすことにつながります。上陽北口学園の学力は全体的に良好です。しかし、さらに、子どもたち一人一人の力を高めていきたいと考えています。学校では、ICTの活用を中心に授業の工夫を行っていきます。同時に学校と家庭と協力しながら、もう一度、子どもたちが学習に向かうための土台づくりを進めていきたいと思っています。

「欲求5段階説」という考え方があります。アメリカ合衆国の心理学者アブラハム・マズローが主張した人格についての理論です。ビジネスの世界でも、応用的によく使われています。

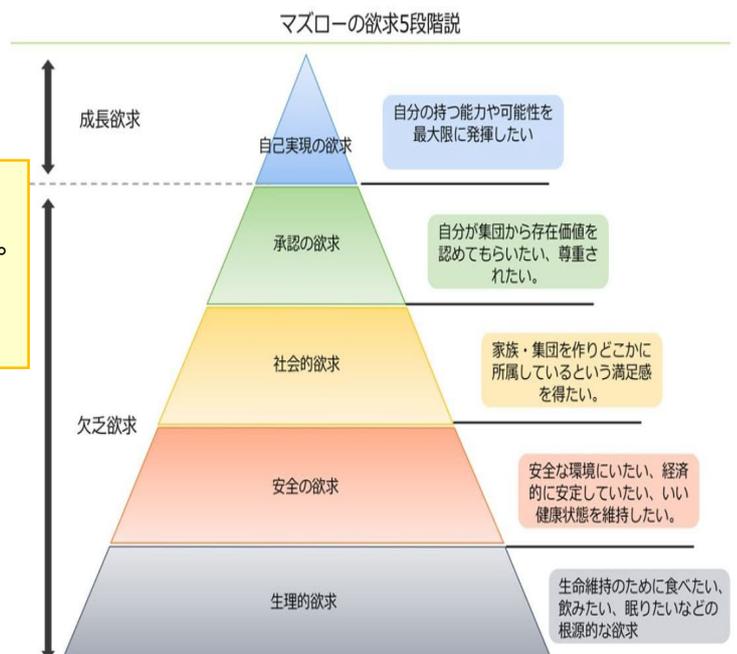
下が、欲求5段階説を表した図です。図の最上位に、自己実現の欲求があります。子どもたちに、この自己実現の欲求をもってもらいたいと思います。子どもたち自身が自分のもつ能力や可能性を最大現に発揮したいと願うことが、成長に必要なだと考えるからです。

図の下の方には、欠乏欲求（生理的欲求・安全の欲求・社会的欲求など）があります。「おなかがすいたから何かを食べたい。十分に眠りたい。」「危険のない安全なところにいたい。」「安心できる自分の居場所がほしい」など、生きるために必要な願いです。下層にある欲求の方がより早く現れやすいと言われています。おなかがすいていたり、眠かたり、いじめや暴力におびえていたりしたら、勉強や運動に身が入らないのは当然なことでしょう。

私たち大人がやるべきことは、できるだけ欠乏欲求が少ない環境に子どもをおくことだろうと考えます。

- ・ 子どもたちが、朝食を食べて学校に来る。
- ・ SNS等に依存せず睡眠を十分とっている。
- ・ 家庭や学校が安心できる場所になっている。
- ・ 家庭や学校に居場所がある。

このようなことが、学力向上を含む成長の土台づくりだと思います。右の図の内容を一つの参考にしながら、今後も学校と家庭と力を合わせて、子どもたちにとってよりよい環境をつくっていきましょう。



6年生の修学旅行

6年生は、11月16日(水)、17日(木)の1泊2日で、長崎に修学旅行に行きました。「深めよう友情」「守ろうルール」「学ぼう長崎」という観点で班のめあてをつくり、自分たちでつくった行動計画をもとにフィールドワークを行いました。マナーを守り友達と力を合わせて、とてもよい学習ができました。自分たちで考えて行動する体験は、今後の学校生活に生きてくると思います。



↑ 平和公園で、バスガイドさんの話を聞いています。



↑ グラバー園を見学しています。

南筑後地区中学生 英語スピーチコンテスト

11月12日(土)に柳川総合保健福祉センター水の郷で、英語スピーチコンテストが開催されました。課題の部(暗唱)と自由の部(スピーチ)の2つの部門でコンテストが行われ、各校から27名の生徒が出場しました。

本校からは、代表として8年生の山口結生奈さんが自由の部に出場し、見事に、優秀賞を受賞しました。12月3日にアザレアホール須恵で行われる県大会に出場します。県大会でも気持ちのこもったスピーチを披露してくれることと思います。みんなで応援しています。



↑ 表彰式後の記念写真撮影の様子です。

研究授業の様子 (ICT を効果的に活用し、学力向上をめざしています)

上陽北浜学園は、福岡県の情報活用能力向上事業に取り組んでおり、研究の成果を福岡県内に広めることを期待されています。その一環として、11月24日(木)に、7年生数学の研究授業が行われま

した。県の義務教育課、教育センター、南筑後教育事務所、八女市教育委員会などから参観があり、子どもたちの学習の様子をたくさんほめていただきました。



↑ 北浜ホールでの授業の様子です。子どもたちは真剣に学習に取り組んでいます。